

第1回 平成28年 4月13日(水) 4月14日(木) 4月19日(火) ◆参加◆
 ・平和工業(株) ・日栄産業(株) 京浜運送(株) ・ムソー工業(株) ・(株)酒井ステンレス ・東京メタリコン(株) 協和工業(株) 13社のべ39名



第2回 平成28年10月27日(木) 11月1日(火) 11月2日(水) ◆参加◆
 ・同和鍛造(株) ・(株)北嶋紋製作所 ・(株)大岩商会 13社のべ30名



第3回 平成29年12月4日(月) 12月6日(水) 12月8日(金) ◆参加◆
 ・佐々木半田工業(株) ・(株)三功工業所 ・(株)大成 12社のべ33名



募集中! 今後、訪問先企業としてご協力いただける企業様は、是非、連合会事務局までご連絡ください。

京浜島コラム #5

前回は京浜島への移転について組合ごとの集団移転を行う事業協同組合方式が採用されたことまで記しましたが、その続きです。

その後、昭和47年から移転の対象となる企業の選定や集団化の促進、用地割当計画等を進め、事業推進に関連する関係諸機関の指導及び調整を経て、昭和49年に事業計画が決定しました。当時の経営者たちは口々に「移転が決まると長期低利の公的融資が利用できるのたいへん厳しい審査だった」と話していました。

そして、昭和50年から協同組合単位での移転が始まり、昭和59年にはほぼ全企業の移転が完了しました。なお、京浜島の移転に関しては工場集積地である京浜島二丁目のことであり、一丁目と三丁目は集団移転ではなく条件も異なります。

次回からは、京浜島周辺の情報をお伝えします。(京浜島連合会N)



発行

京浜島工業団地協同組合連合会

大田区 産業振興課 工業振興担当
 都市計画課 計画調整担当

連合会では、京浜島で働く魅力を高めるため、**京浜島の将来像(仮称 京浜島まちづくりビジョン)**を検討しています。

～京浜島まちづくりビジョンについて～

平成27年度より、島の将来の絵姿を描く「(仮称)京浜島まちづくりビジョン」の検討を開始し、以下のような方針をたてました。

- ◆京浜島で培われた技術力・人材を掘り起こし、魅力(「仕事」「島」「技)を「再発見」する。
- ◆「仕事」「島」「技」の魅力を高め、若い人にとっても働きたいと思える、魅力的な京浜島を生み出していく。
- ◆島全体で採算性、創造性、社会性、継続性を高め、世界から注目を集める京浜島ブランドを磨いていく。

これらの方針の元、試行的に様々なことに取組みを進めています。
 今後の「京浜島ニュース」では、京浜島まちづくりビジョン検討の経過の様子や、島の将来像実現に向けての取組みを紹介していきます。

今年度(平成29年度)の取組み

今年度連合会では、京浜島の将来に向けた、京浜島まちづくりビジョンの取組みについての説明会と、島内交流等を目的とした、京浜島オープンファクトリー(略称「KOF」)を実施しました。

京浜島まちづくりビジョンの取組み説明会(10月)

ビジョンや取組みの周知を図るため、京浜島の将来像(仮称 京浜島まちづくりビジョン)の内容について皆さんにご報告する「京浜島まちづくりビジョンの取組み説明会」を10月24日(午前・午後計2回)に実施しました。説明会の中で、参加者の皆様からも島の現状について、以下のようなご意見をいただきました。

説明会で出た主な意見

島の良いところ

- ・ものづくり業種が集積している
- ・仕事に専念できる
- ・仕事に有利な立地

島の課題

- 1 駐車場や事業継続のための土地が不足している
- 2 従業員同士の日々の交流がない
- 3 人材育成、匠の継承が難しい
- 4 採用に不利



第3回 京浜島オープンファクトリー(12月)

かつて島内で見られた「仲間回し」や、「島内交流(顔が見える関係づくり)」を活発化させるため、島内企業の工場見学「京浜島オープンファクトリー」を昨年度に引き続き実施しました。

“お隣さん”を知り、「従業員同士」の自然な交流から、今後、企業同士の「新たな事業連携」が期待されます。

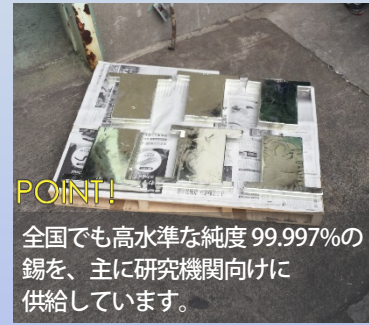
3回目となる今回は、12月4日(月)、12月6日(水)、12月8日(金)の3日間の見学会で、合計12社のべ33名の方にお越しいただきました。



第3回 京浜島オープンファクトリーの詳細は、2～3ページをご覧ください→

佐々木半田工業株式会社

錫・鉛・はんだ・ホワイトメタル製品の製造・販売



POINT!

全国でも高水準な純度 99.997%の錫を、主に研究機関向けに供給しています。



先進的な取組を行う一方で、年代物の機械を大事に使い、手作業で仕事をしておりその対比が面白い。

仲間であり、ライバルでもある企業の現場を見られることは良い機会。

株式会社三功工業所

空調ダンパー、防災ダンパーの専門メーカー

主な業務内容について

- ・空調ダンパー・防災ダンパーの専門メーカーとして、建物の快適性と安全性を追求し続けています。
- ・高層ビル／ホテル／病院／プラント等、ほとんどの建築物に使用されており、ダンパー生産量のシェアは日本で第3位の25%。東京に限れば、シェアは50%になります。ゼネコン／サブコン／ダクト工事業者の皆様幅広くご利用いただいています。



POINT!

ダンパーの仕組みについて理解してもらえよう展示用の装置もあります。



POINT!

ダンパーの試験・検査も自社で行っています。

納入先の現場で自社の製品がこのようなになっていることに驚いた。

自社も金属加工であるが、作業の分担や進め方が大変参考になった。



株式会社大成

材料販売及び切断・機械加工

主な業務内容について

- ・アルミ厚板「アルジェイド®」「アルハイス®」等のアルミニウム、銅、黄銅、ステンレス等金属製品販売および、フライスアウト（専用の切断機による精密切断）・フライス加工等を行っています。
- ・大田区と新潟・三条に立地し、刻一刻と変わるお客様のニーズにタイムリーに対応します。東京と新潟の、物と物、人と人を繋ぎ地元を愛される企業を目指しています。



同業の会社の内部を見る機会があっても異業種の会社を見る機会はない。

見学できてよかった。加工機械がすごかった。



◆開催概要

◆日程及び訪問企業

- 12月4日（月）佐々木半田工業株式会社
- 12月6日（水）株式会社三功工業所
- 12月8日（金）株式会社大成

◆参加者

計12社のべ33名

◆当日スケジュール

時間	行程	内容
10:30～	集合・企業紹介	訪問先企業の事業概要説明
	↓(移動)	
10:50～	企業訪問	現場見学
	↓(移動)	
11:50～12:20	質疑応答	参加者の質問を共有

◆訪問企業位置図



◆その他 KOF へのご意見

- ・見学により取引先の方にも興味を持ってもらったと思う。今後の広がりを期待したい。
- ・金属製品の作り方や工夫等、具体的手法までわからなくとも、その様な工夫があるという事自体に気付くことに、非常に価値があると感じました。